

## 第2章 目 標

### 1. 緑の数値目標

金峰山、立田山、熊本城、江津湖の水辺、市街地内の街路樹等の、豊かで四季折々に趣を変える緑は、市民に安らぎと潤いを与えています。私たちは、このような都市の風格を保ち、季節を感じる熊本らしい緑を守り育てます。

熊本市では、法律や条例、協定等で守られている緑は47%です。しかし、市の発展にともなって私有地の緑の減少傾向は続くものと予測されます。今後、持続性のある緑地を拡大し、その減少を防ぎ緑化を推進します。

計画テーマである『水と緑と心豊かな「森の都」熊本』を実現するため、平成37年度（西暦2025年）までに次に示す緑地量及び緑被率の確保を目指します。

#### 平成37年度の緑地目標量

市域全体で **48%以上の確保**（現況47%）  
市街化区域で **13%以上の確保**（現況12%）

緑地：公園、道路、学校、河川等の公共施設の緑のほか、風致地区や自然公園、緑地協定地区等法律や条例により緑が守られている区域（3頁参照）。

市街化区域：既に市街地を形成している区域及びおおむね10年以内に優先的に計画的に市街化を図る区域として、都市計画で定めた区域。

※ 市域全体で1%は約260haで、この面積は熊本城の約4.5倍の広さに相当します。

※ 現況は平成13年度現在

#### 平成37年度の緑被率の目標

緑被率①で **30%の確保に努める**（現況30%）

※ 緑比率①は(樹林+草地+果樹園)÷市域で、緑の指標として最も代表的なものです。

※ 現況は平成13年度現在

#### 緑豊かな街を創ります

##### 都心部の緑化の推進

平成37年度までの目標量

街なかに緑が多いと感じる市民の割合

**85.0%の確保**（現況72.7%）

自然とのふれあいや動植物の生息の場である緑を適正に保全するとともに、特に、緑の少ない中心市街地での緑化に取り組みます。

※現況は平成15年11月に実施した1万人市民アンケート調査結果

緑豊かな憩いの場を創ります

環境にやさしい公園づくり  
防災に役立つ公園づくり  
都市の顔となる公園づくり

平成37年度までの目標量

一人当たり公園面積 **10 m<sup>2</sup>**の確保（現況8.3m<sup>2</sup>）  
歩いていける公園の整備率 **54.6%**の確保（現況42%）

熊本市は、都市や地域の拠点となる公園や身近な公園を整備し、市民が公園づくりや管理運営に参加します。

※ 現況は平成13年度現在

## 2. 行動目標

### （1）緑をつなぐ潤いのある道と川を創ります

- ・緑量と季節を感じる街路樹づくり
- ・多自然型の川づくりや親水空間づくり

熊本市は、地域の特性にあった街路樹や水辺の緑を増やし、市民参加による植樹や管理を進めます。

### （2）地域の拠点となる学校の緑を守ります

- ・学校緑化の推進
- ・学校樹の整備

熊本市は、各学校において緑化を推進し、緑を大切にする子どもたちを育てます。

### （3）市施設の緑化を進めます

- ・市民センター、コミュニティーセンター等の市施設の緑化推進

施設の目的や構造、周辺の調和を考え、施設ごとに特色ある植栽に努めます。

### （4）森の都の財産を守ります

- ・水源かん養域となる緑の保全
- ・山や台地の樹林地の保全
- ・身近な樹林地や樹木の保全

熊本市は、環境保護地区、保存樹木等の指定を拡大し、市民の協力を得て緑を守ります。